

第二十九回 新春懇談会を開催

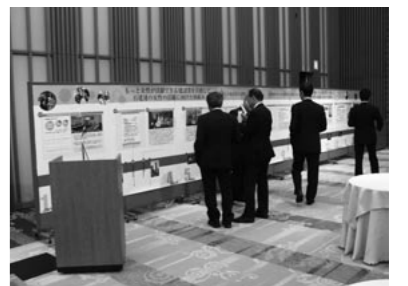


「けんせつ小町」ロゴマークの発表

日本建設業連合会（日建連）は、一月二十二日、東京・大手町の経団連会館において、恒例の「新春懇談会」を開催した。新春懇談会は、日建連役員および会員会社社長・広報担当者等が、マスクミヤオピニオンリーダー等と親しく交流し建設業に対する理解を深めてもらうために毎年実施しているものである。

冒頭の挨拶で中村満義会長は、日建連が一年来取り組んでいる技能者の処遇改善と将来の担い手確保・育成に向けた活動について触れ、「今年一年を、しっかりと成果を出していく一年と考えている。本年も引き続き、雇用環境の改善を進めていきたい」と述べ、出席者に対し理解と協力を求めた。

続いて、宮下正裕広報委員長が挨拶の中で、建設業で活躍する女性技術者・技能者の愛称



上/会場内には、女性の活躍推進に向けた日建連の活動を時系列で紹介するパネルが展示された
下/談笑する出席者

「けんせつ小町」のロゴマークが決定したことを紹介し、「『けんせつ小町』とロゴマークを積極的にPRして、幅広く普及・定着を図り、女性のさらなる活躍を後押ししたい」と抱負を述べ、乾杯の発声を行った。そして、ロゴマークの検討を行った愛称推進分科会を代表して小早川泉委員が、出席した「けんせつ小町」とともにロゴマークに込めた想いを語ると、会場内は割れんばかりの歓声と拍手に包まれた。

今回の新春懇談会は、愛称推進分科会委員をはじめ「なでしこ工事チーム」リーダー、「女性活躍推進フォーラム」パネリスト等、会員会社でいきいきと活躍する女性が大勢出席し、例年になく華やかな会となった。他の出席者も例年を大幅に上回り、立錫の余地もないほどの盛況であった。